No. 134　　昭和38年8月1日

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所　田辺印刷株式会社
上田市原町　TEL (2) 1492・2566

千曲会報

編集兼発行人　小林尚一
発行所　社団法人　千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京43341
電話上田(2)1215(代表)(2)1218(直通)

繊維の新しい分類法と効果

繊維工業試験所長
工学博士　成田時治

(1) 旧分類法について

繊維分類は永年にわたって，化学分類に依存してきた。即ち天然繊維の中，羊毛と絹は蛋白質繊維，木綿と麻とはセルロース繊維と分類してきた。併しこれは再考してみると，初めは4者併列のもので，レーヨン（化学繊維）を作るようになってから，振り返って分類したものである。ということは蛋白質繊維の中と羊毛と絹とは，生成機構が異り，その性能も全くといっていいくらい違っている。セルロース繊維の木綿と麻も同様である。工業技術的に考えて，利用出来るのは染色位のもので，その他には利用できない。

レーヨンができスフができ，アセテートが出来て，これらを化学繊維というようになった。上記の分類からすれば，セルロース繊維，セルロース誘導体繊維というところであろう。ところが，ここへ来ると，人絹（レーヨン）スフ，アセテート，ベンベルグなどと分類し，この点では天然繊維分類に引ずられた感じである。

合成繊維ナイロンが出来てから，各種の合成繊維が創造されたが，（ポリエステル）テリレン，サラン，ダイネル，アクリロンなど，むしろ商品名が用いられている。塩化ビニール，ポリエチレン，ポリプロピレンなどは化合物の名前になっている。その結果，これらを含めた分類法が論議されて，現在一般化した分類表がある。これがここにいう旧分類法である。

この分類法は，天然繊維の分類に出発したものである。それは，繊維分類が工業技術分類にも，つながっているところに特徴がある。

旧分類法と工業技術系列

△木綿繊維
- 綿糸紡績機械――綿糸
- 綿織機――綿織物
- 綿織物精練漂白機械――
- 綿織物染色仕上機械――完成品

△羊毛繊維
- 毛紡績機械
  - 梳毛紡績｛英式／仏式｝――梳毛糸
  - 紡毛紡績――紡毛糸
- 毛織機――毛織物｛梳毛織物／紡毛織物｝
- 毛織物染色仕上機械（整理）――完成品

△絹繊維
- 製糸機械――生糸
- 絹糸紡績機械――絹紡糸
- 絹織機――絹織物（生織物，練織物）
- 絹織物染色加工機械――完成品

△麻繊物
- 麻紡績機械――麻糸
- 麻織機――麻織物
- 麻織物染色仕上機械――完成品

全く材料繊維別に別の型式技術が作られている。その結果人絹やスフも同様の取扱いを受けて

△人絹
- 人絹織機――（絹織機流用）――人絹織物
- 人絹織物染色加工機械（絹用機械流用）――完成品

△スフ
- スフ紡績機械（綿紡機流用）――スフ糸
- スフ織機（綿織機流用）――スフ織物
- スフ織物染色加工機械（綿用機械流用）――完成品
  （樹脂加工機械だけ開発）

というような有様に考えを延足して行った。ここで私見を述べて置く。

人絹は本質的に絹と違い，その物性も違っている。ただ形が似ているだけである。となれば，人絹用の機械(科学技術)を開発するべきであった。もしその考え方があったならば，人絹を1歩絹に近迫せしめる研究も発芽し，アセテートがレーヨンよりも，絹に近い（同じ乾式紡糸であるから）という思想も発生し，わが国では，もっと早くアセテートの工業化に力を入れる理的主唱があった筈である。

スフ工業にしても，初めは人造羊毛で出発したのであるから，綿一辺倒にならなかったのではあるまいか。勿もスフは綿花の輸入困難になったため，国産繊維というので，これを最も安く紡績できる綿紡機にかけて糸にした戦時体勢にも責任はあるが。羊毛の方向を向いていたならば，今頃は，より羊毛に近迫した繊維を開発していたのではあるまいか。

併し以上の如き分類をしたので，工業技術は，一系列を出でなかったといえる。今日開発されている合成繊維も，各繊維の化学構造をその特性から，技術の1系列観念にとらわれる結果となった。

工業製品を広く観察してみると，特に加工工業においては完成品を作るために，色々の材料を組合せて，1材料では実現出来なかった高性能なものを創造している。上記の如き1系列主義からは，この思想は生まれて来ない。ここに旧分類法が今日の時点にあわない欠点を内臓している。旧分類法の長所は1繊維1品的で，繊維特性の高度利用には役立つたかも知らないが，他の多くのものは，必ずしも，完全ではない結果になっている。この思想は，私が13年前に繊維百点説というのを出したが，今考えてみると，汗顔の至である。というのは，この思想に基けば，各完成品毎に，1繊維（合成繊維)を作らなければいけないので，百年河清を保つに等しい。

(2) 新分類法

加工工業という点では，繊維工業も，機械工業も，電気機械工業も同様である。ということであれば，理想製品を開発するためには，その設計に基いて，適当な材料を組合せて作るべきである。特に繊維の世界も，繊維の種類が著しく増加して，各種のものがあり，且つ各繊維は（天然繊維を除く）

太さ，長さ，断面形など，自由に作り得るから，設計に基いて，これらは自由に作り，完成品の中で，各特性を融合せしめ得る。その結果は，単一繊維では出来ない完成品を作ることが可能である。尚天然繊維といえども，紡織（混紡）製布（交織）に際して，利用出来る場合も少くない。更に完成品は衣服材料，屋外材料，屋内材料，工業材料などの分野に用いられ，これらの必要特性は略予想がつくから，これに基いて設計可能である。即ちこれら完成品の要求する特性を大別すると。

△完成品特性指数

△衣料用 { 耐久指数 / 外観指数 / 不快指数 }
△屋内用 { 耐久指数 / 外観指数 }
△屋外用 { 耐久指数 / 外観指数 }
△工業用 { 耐久指数 }

この考え方は，天然繊維を材料として，われわれの先祖が経験的に完成している今日の繊維製品（完成品）を反省してみると，実によく出来ていることから発している。併しこれらは限定された繊維（天然4種）から作られたものであるから，その特性上に不完全な点が少くない。ここで新繊維も加えて，新設計すれば，高性能で，経済的価値のあるものは出来る筈である。

設計即ち繊維を組合せて，新製品を設計するためには，繊維の特性配列の方が，取扱い易い。機械材料における分類をみても，化学構造で分類せられているものはなく，特性分類になっている。スランレスの如きはその好例である。完成品設計に際して，その必要特性に基いて，スランレス鋼の中から選定採用しているのが実情である。ついては，繊維の分類配列もかくの如くする方が便利である。かつ効果的でもあり新製品開発の可能性を向上する。

新分類法は，かかる考え方に基いて，物性分類にすることを提案した。（1962年末）ここで一般に解り易いために，先づ合繊以前の繊維が持っていなかった特性で，合繊の発達によって新しく発生してきた特性に先づ着目した。その表を表示する。

繊維——新分類法

△純プラスチック分類（粘弾性，熱可塑，強靱性を含む）
純プラスチック繊維 (Pureplastic fibres)
ナイロン，テトロン，ポリエチレン，ポリプロピレン，塩化ビニール，塩化ビニリデン等の熔融紡糸のもの

半プラスチック繊維 (Semiplastic fibres)
絹，羊毛，アセテート，乾式アクリル
ビニロン（湿乾式）

非プラスチック繊維 (non plastic fibres)
木綿，麻，ビスコースレーヨン，スフ，キュープラ
アクリル（湿式）

▽親水性分類 (Hydrophilic) (Sensitivity) (Sensibilty)

純親水性 (Pure-hydrophilic fibres)
木綿，麻，ビスコースレーヨン，スフ，キュープラ，絹

半親水性 (Semi-hydrophilic fibres)
羊毛，アセテート

非親水性 (non-hydrophilic fibres)
ナイロン，テトロン，ビニロン，アクリル，ポリプロピレン，ポリエチレン，塩化ビニール，塩化ビニリデン

△固体分類 (Solid)（間隙性分類）

純固体 (pure solid fibres)
ナイロン，テトロン，ポリプロピレン，ポリエチレン，塩化ビニール，塩化ビニリデン（何れも熔融紡糸繊維）

半固体 (Semisolid fibres)
羊毛，絹，アセテート，オーロン，ビニロン何れも乾式紡糸）キュープラレーヨン，ポリノジック

非固体 (non-solid fibres)
木綿，麻，ビスコースレーヨン，スフ，アクリル（湿式）

△染色性 (Dye ability)（淡色——濃色を美しく純可染性）(Pure dyeable fibres)
絹，シルケット綿

半可染性 (Semi dyeable fibres)
木綿，羊毛，麻，ビスコースレーヨン，スフ，キュープラレーヨン，アセテート，アクリル繊維，ナイロン，テトロン

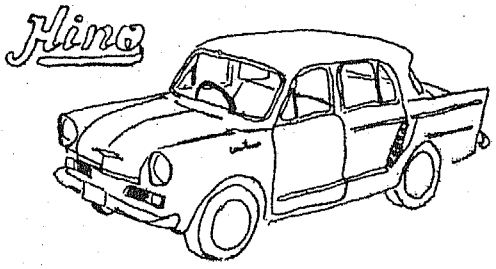
非染色性
塩化ビニール，塩化ビニリデン，ポリエチレン，ポリプロピレン

為替のご用は
はやくて たしかな
富士をご利用下さい

千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金
口座長野3523が一番ご便利です

上田市原町
皆様の 富士銀行上田支店

今人気の コンテッサ / ルノー 乗用車



日野自動車代理店 菅沼モーター工業株式会社
上田市常入908 電話(上田)(2)1914

米国のメリヤス業界を視察して

片倉ハドソン株式会社　小林三郎

今般社命により米国のメリヤス業界の視察を行って参りました。4月26日BOACで羽田を発ち，途中ホノルル，サンフランシスコで給油，一路紐育へ飛びました。小生の勤務している会社は，婦人靴下，セーター，肌着其の他の婦人物を中心としたメリヤス製品の製造販売を行っておりますので，今回渡米の目的も，米国に於けるこの面の業界の製造技術，市場調査，流通機構等の実態の調査研究といった事が主体でありました。滞米日数が約1ケ月という短期間であり且つ調査事項が比較的盛り沢山でありましたので，所期の目的を十分果し得る段階まで参りませんでしたが実際に体得した事項について記して見たいと思います。

1，二次加工製品から見た米国の繊維素材の動向

日本に於ては天然繊維に対する化学繊維の伸長率は誠に目覚しいものでありますが，米国に於てもこの傾向は，日本以上であり，ポリアマイドから，アクリル，そしてポリエステル，ポリプロの発展段階は，全く同様の様であります。之と同時に，繊維の加工形態がナチュラルのものから，ストレッチヤーン，バルキーヤーンといった様にその化学繊維の持つ特性を遺憾なく利用開発した加工技術の成果が特に又その使用率に貢献しているものと云えましょう。ナイロンがそれの持つ卓越した繊維性能に於て逐次天然繊維の分野に進出し更にウーリーナイロン，パンロンといった様な開花された加工技術により，二次加工分野に於ける揺ぎなき地歩を確保したと同様，米国に於ても，アジロン，ヘランカ，タスラン，加工等により，単にアンダーウェアーにとどまらずアウターウェアーの分野に迄根強い浸透力を示している模様です。更にオーロン，ダクロン等も，ナイロンに次ぐ新しい素材として着々と伸びて居ります。最近に於ては，後の二者も，凡ゆる繊維製品に利用されて居るのは勿論でありますが，特にアウターウェアー面に於ける進出が目覚しい様であります。之等化学繊維発展の要因としては，その本来の繊維性能にプラスして，最近の米国の経済状態，国民生活様式等が拍車をかけて居るものと考えられます。

米国国民の所得は，日本に比較して，概ね，数倍以上の開きがあり，之に対比した繊維原料の単価は，日本のそれに比して稍高い程度といったアンバランスがありますが，労務費が非常に高いという関連もあって，二次加工製品の単価は必ずしも安くありません。それに加うるに全世界共通的なレジャーブーム，バカンスブームといった傾向は米国はむしろ本家の立場にありますので衣服原料に対する要望が，次の様な傾向をとって来て居ります。

(1) 外衣等に於ては一般的に高級品よりは，むしろ着捨て式な，比較的安価に手に入り，新陳代謝のきくもの。

(2) 旅行，スポーツ用として所謂 wash and wear の性能をもつもの。

以上の様な目的を満足させるため，ナイロン，アクリル，テトロン系統の繊維が，他の天然繊維と混紡又は単用の形で非常に広く利用されて居り，且つ最近の日本に於ける傾向と同様に，ジャージイに対する注目も著しいものがあります。日本に於ても，各社に於て，化学繊維の開発が活発に行われ且つその原糸に対する加工技術の進歩と相俟って，現在合繊ブームの感あるのも当然のことと考えられます。

2，合理性と高能率

私の渡米の主たる目的が婦人靴下製造技術の調査でありましたが，この調査を通じて特に感じた事は，各作業に於ける高能率と経営管理に於ける合理性でありました。他の繊維産業を詳さに見る機会はありませんでしたが恐らくこの事は同様と考えられます。

私のみた限りに於ては米国の靴下製造機械自体は日本のそれに比し必ずしも新しいものを取入れて居らず，又進歩した機械でもありません。その状態下で同種作業を比較した場合倍以上の能率をあげているものが沢山あります。日本の技術が工程管理，品質管理，技術管理面に於て，必ずしも劣っているとは私自身は考えて居りませんが，然も尚その様な高能率は何処に帰因するか。いろいろ考えて見て，(1)原料ナイロン糸の優秀性。(2)賃金体系の合理性。(3)労働に対する基本的観念の相異等にその原因がある様に考えられます。(1)項については私共技術者として余り云うことを好みません靴下原料としての優秀性は多くの人が率直に認め，このことが，品質能率に大きく影響している事実は否めません。(2)は徹底したpiece work 制度を採用している事です。日本に於ても能率給，職務給等の再検討が盛んに叫ばれて居りますが現在はどうしても生活補給金的，年功序列要素を脱却出来ず，必ずしも本人の能力，能率にスライドした賃金は支払われて居りません。米国に於ては，単位作業量当り単価が設定されて，個人の作業量に応じて賃金が支払われ，この事が勤労意欲を促進するのに大いに役立って居ります。

(3)項については，日本人はよく勤勉であると云われますが米国労働者の作業態度，意欲と比較すると矢張りそこに労働に対する割切った基本的観念の相異があるのを見受けます。米国に於ては1週2日の休暇がある事は御承知の通りで，この点の相異があるとは考えますが，矢張り働く時は大いに働き，楽しむ時は大いにレジャーに興ずると云った様な点については，その割切り方に於て日本人の方が劣る様に考えられます。

この様なことが累積されて高能率の原因となって居り，更に加うるに経営全般自体が非常に合理的に運営されて居ります。日本でも，OC，IE，OR，等々製造作業のテクニックが大いに唱えられて居りますが，どうも理論と実践の面で喰い違いがある様に見受けますが，米国に於てはこの様な手法が理論でなく，実践的にスムーズにとり入れられて，経営が合理的に運営され，高能率の問題と相俟って原価的にも品質的にもすぐれた品物が生産されるものと考えられます。将来我国のいろいろの産業が，国際競争の場に立って大いに飛躍せんとする時，考えなければならない問題の一つと思います。

私の渡米目的が専門的でありましたので，出来るだけ一般的なご参考になるものと考え，気付いた二，三の点を申述べましてご報告に代えさせていただきたく存じます。

繊維機械学科研究室・繊維実験室・高分子工業研究所落成式挙行

新時代の動きに対応した学部の体質改善事業は昭和36年より当局の拡充計画と関係各位のご協力によって進められていたが，その第1段階の3建物の完成を祝し落成式は7月12日午前11時より母校講堂において，長野県知事はじめ100余名の来賓のご列席を得て，盛大厳粛に挙行された。式は清水事務長の開式のことば，信州大学渡辺施設課長の工事報告三村信大学長挨拶につづいて，小泉学部長より別掲のとおり詳細な挨拶と学部改新期成同盟会長参議院議員木内四郎氏よりご挨拶があった。感謝状贈呈は三村信大学長より機械学科研究室工事請負人北信土建ＫＫ社長野沢三郎氏に電気施設工事の日昭電気ＫＫ社長池田栄一氏および向陽電気ＫＫ社長斉藤米吉氏，衛生施設備工事川崎設備ＫＫ社長吉田明男氏に又繊維実験工場移改築工事請負ＫＫ柳組社長柳沢章三郎氏に贈呈された。

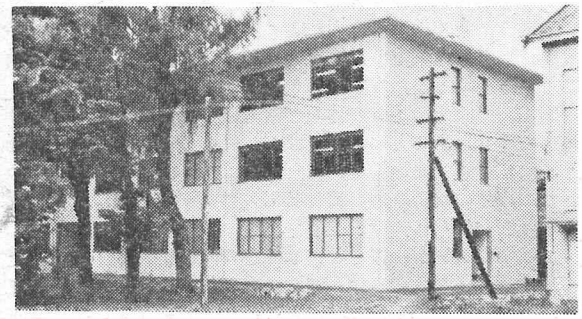
高分子工業研究所関係感謝状は期成同盟会長木内四郎氏より工事請負人ＫＫ宮下組社長宮下鯛次郎氏に電気工事の宝電業ＫＫ社長宮下利一氏に衛生施備の川崎設備ＫＫ社長吉田明男氏に感謝状を贈呈された。来賓祝辞は長野県知事代理橋詰英雄出納長，上田市長小山一平氏，帝人常務西村鎮次郎氏のの学部発展の祝辞を述べられ，祝電披露があって閉式。式后繊維機械学科研究室においてパーテーが催され三建物落成式は滞りなく終った。

ご あ い さ つ

信州大学繊維学部長 小 泉 清 明

本日当学部の繊維機械学科研究室，繊維実験工場ならびに高分子工業研究所の新築と移改築の落成式を行うに当り，平素からご心配をいただきました方々にご案内を申しあげましたところ，暑中かつご多用中のところをご列席くださいまして誠に有り難うございました。厚くおん礼申しあげます。

私どもの学部は，政府の理工系大学教育の拡充政策と技術革新にともなう業界の新しい動きに対応して，昭和36年学部機構全般にわたる根本的な改組拡充を行ったのでありますが

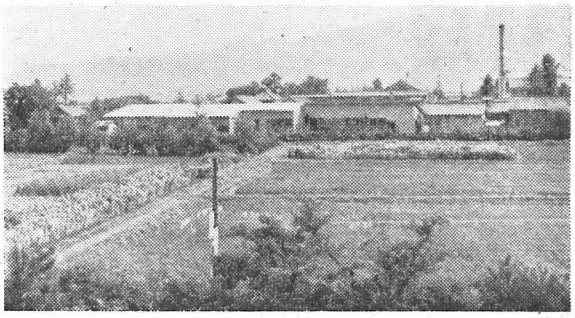


繊 維 機 械 学 科 研 究 室

今日落成をみた3建物の新築，改装はこの時の計画の一端が有形的な形として最初に実現したものでありまして，当学部にとってはまことに意義の深いものであります。

まず繊維機械学科研究室の新築について申し上げます。この学科は最近の繊維機械類の複雑精巧化に対処するため，一般機械工学の基礎の上にたって，繊維機械類の設計，製作操作，改造などの研究と教育を行う学科として新設を申請し幸いに文部省のご理解とご指導を得て36年から発足した学科であります。研究室710坪の建設が同時に許可になり，第一期工事として303坪が36年8月に着工され翌年3月竣工，第二期工事407坪は37年8月着工，本年3月に落成いたしました。建物の内容は教官15人分の研究室13室，学生200人分実験実習室5室，卒論学生用の研究室5室のほかに機械類の特殊研究室等25室計48室よりなり，すでに教官と学生は入室して一同近代的な建物と設備の喜びにひたりつつ新学科の育成に意気込んでおります。

次に繊維実験工場の移改築についてであります。この工場は明治43年本学部創立と同時に建設されたもので50年間学生の実習工場として貢献し，卒業生はいずれもこの工場で実技をおさめて社会に巣立ったのであります。また工場の機械類は明治の末期から大正の初期にかけては，わが国唯一の最新設備として直接業界の大きな参考になったとも聞いております。しかるに半世紀をこえる歳月を経た今日では，



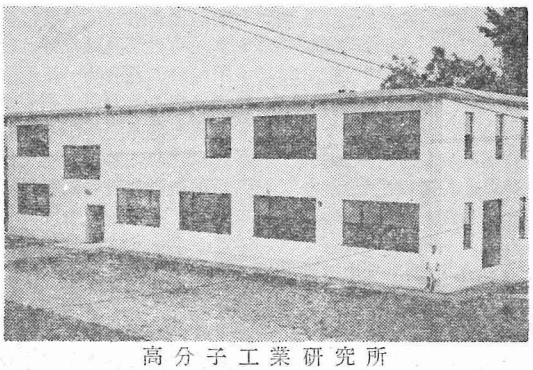
繊 維 実 験 室

建物は全く老朽化して雨もりなどがひどく耐用の限度にき，また当時の最新式機械類も，あるいはそれらの運転機構も時代おくれになったものが多く，われわれは以前から更新を念願しておったのであります。一方本工場の所在場所が，学部の将来計画における他の建物の建設予定地となった事情も加わって，にわかに移改築の議が進み，37年文部省にお願いして実現をみることになりました。すなわち所在場所から約100メートル離れた北側の場所にもとの450坪を270坪に縮少して移改築を行ない，同時に内部設備も使用に耐えないものは棄却し巨大なものは適当にカットし，あらたに数台の最新機械を本学部改新期成同盟会にお願して導入したのであります。なお臨時の措置ではありますが，移改築後の工場には色染工場と機械工場の一部も一所にはいっております。この工場の移改築は37年7月に着手して同12月に完成しております。

次に高分子工業研究にについてであります。学部では古くから繊維の研究所の進展には，それ自体のみでなく，これと密接な類縁関係にある立体高分子の研究が不可欠であると考え，これについて多数の研究業績を蓄積してまいりました。たまたま最近立体高分子を利用するいわゆる高分子工業がめざましく発展し，プラスチック，ゴム，接着剤塗料，フイルムなどを土台とする製品が，木材，金属，陶器などの代用あるいは，それらに勝るものとして近代工業ないしは近代生活の花形材料になってまいりました。学者によっては高分子工学を原子力，電子工業とともに第三次産業革命の3大柱と唱えている人もあるくらいであります。このような客観状勢をも反映して，線状高分子である繊維をも含めて高分子工業に関する基礎的研究を推進するための研究所設立希望が大きく浮かび上ってきました。そこでこの目的を主とし，このほかに学部全体の改新計画を達成したい願望をもって，当学部改新期成同盟会の結成を地元の県，市ならびに業

界などにお願いして，これを実現していただき同会の後援のもとに研究所の設立の運びになったのであります。研究所では高分子化合物の物性，化学，成型その他高分子に関する諸般の基礎的研究を進めますが，今回竣工した研究室では第一着手として高分子の物性，化学，構造，合成などの面を取扱います。研究所の延坪は217坪でありますが，これは近く同盟会から国に寄付の手続きをとっていただき，可及的近い将来正式な国の施設として研究員の定員もつけてもらい，さらに規模の拡大をもお願いしたいと存じております。それまでは研究員は学部教官の兼任でゆく方針であります。

以上が本日落成式を行ないます建物の建設を企画した趣旨と経過の概略であります。これらの計画の実現については学部は各方面から多大のご配慮にあずかりました。大学本部の学長初め事務当局の初めから終りに至る多大の配慮は申すまでもありませんが，政府では文部省，大蔵省のご当局，別にして文部省の大学学術局，管理局施設部，官房会計課におかれては複雑な学部の体質改善計画に賛意を表せられ，計画達成に懇切なご指導とご配慮を賜わりました。また学部の改新期成同盟会は側面から学部の進展に対して心からなる援助を与えられ，学校側の計画の中で同盟会が一心同体になって実現にまい進してくださった部分が非常に多いのであります。同盟会の運動に対して長野県，上田市ならびに県内県外の関係業界の百指に余る会社あるいは団体は出費ご多端の折柄にもかかわらず多大のご援助を寄せられました。なお各地に散在する同窓会千曲会の会員は学部や同盟会の運動推進にあたって陰に陽に多大の応援を惜しまれませんでした。


高分子工業研究所

以上ご関係の方々のご芳名をいちいち申しあげることは失礼させていただきますが，学部が今日まで前進の道を歩いてこられたのは，いつにこれらの方々のご高配のお陰でありまして，ここに学部を代表して衷心から厚くおん礼申しあげる次第でございます。

最後になって失礼でありますが，今回の工事を請負われた会社の方々におん礼申しあげます。繊維機械学科の建設は北信土建ＫＫが，繊維実験工場の移改築はＫＫ柳屋組が，高分子工業研究所はＫＫ宮下組がそれぞれ請負われました。衛生設備工事は川崎設備ＫＫ，また電気設備工事はそれぞれ日昭電気ＫＫ，向陽電気ＫＫ，宝電業ＫＫが施行にあたられたのであります。これらの会社におかれては最新の技術をつくして誠心誠意工事にあたられわれわれが今日落成式を行って来賓の方々に見ていただき，今後教育と研究の場所として活用してゆくことのできるのも実にこれらの方々のお陰であります。ここに改めて厚くおん礼申しあげる次第でございます。

以上をもって私のごあいさつを終りたいと思いますが，最後に私どもは今日の落成式を一つの契機として，さらに教育と研究への思いをあらたにして国家社会の期待に報いたい所存であることを申しあげて重ねておん礼の言葉に代えたいと思います。

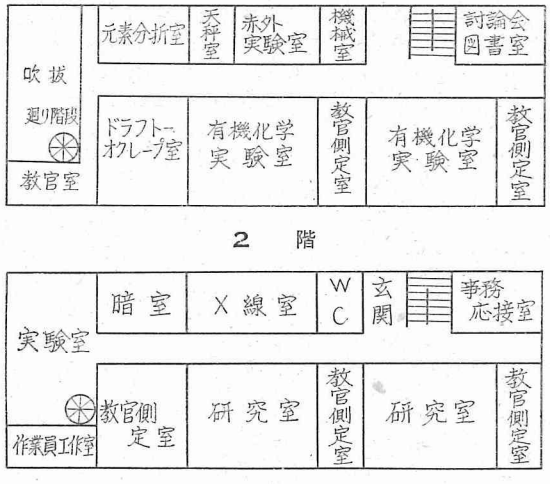
本日はどうも有り難うございました。

高分子工業研究所の新設

信州大学教授　呉　祐吉

近代技術の革命の第一は原子核内に秘められていた莫大なエネルギーの解放と活用であり，第二は電子計算機の発明をピークとするエレクトロニックスの急速な発達であり，第三は金属材料時代の次の時代を背負って立つ高分子工業の開花である。

高分子工業研究所配置図



信州大学繊維学部も蚕糸専門学校として発足したが繊維産業が天然繊維から再生化学繊維更に合成繊維へ進展して来た世界の大勢に即応し，更に又高分子科学の基礎無くしては到底天然繊維の改良も新しい合成繊維の創造も有り得ないところから，つとに高分子化学及び高分子物理学の講座を設けて，新しい時代への研究と教育に努めて来た。繊維を形成し得る物質はすべて高分子化合物であり，その中でも鎖状の分子構造を持つもの丈が合成繊維となる。又原子エネルギー解放の為の原子炉の操作に於ても，エレクトロニックス発達の基礎に於ても高分子化合物は不可欠の役割をはたしつつある。又近代生活の身辺到る処に高分子化合物は或はフィルムとし或はプラスティックスとして活用されつつある。これ等の高分子は繊維を構成し得る高分子とは自からその内部構造を異にするものではあるが，その原料合成の過程に於て，或は資源開発の面に於て共通の基礎と技術の上に立つものである。従って合成繊維の発達はこれ等一般高分子工業との密接な関連の中に於て始めて可能である。繊維学部は近代技術革新の根幹をなす高分子工業の重要性に鑑み，天然繊維の改良，合成繊維の創造ばかりでなく，広く高分子技術，高分子科学の開発の為に新たに高分子工業研究所を設置した。

今回，千曲川の辺り，繊維学部内に建てられた鉄筋コンクリート2階建，217坪（工費20,850,000円）の研究所は信州大学繊維学部改新期成同盟会の寄附によるもので，将来の拡

充を豫測し，第1期工事を38年6月30日に完了，去る7月12日新設繊維機械学科と繊維実習工場と同時に落成記念の祝賀式を挙行した。

上述の如く今回の建築は改新期成同盟会の好意有る寄附によるものではあるが，信州大学本部の理解，繊維学部長を始めとする学部当事者の熱意と努力に対する長野県，上田市，北信一帯市町村の協力と援助の賜である。又特に高分子工業の発展，高分子科学の進歩に深い関心と理解を持つ全国の工業会社の多大の寄附によって始めて達成されたもので，吾々はここに深甚の感謝の意を表すると共にその責任の重大さを痛感するものである。

この研究所は期成同盟会から直ちに国に寄附され，文部省に対して，繊維学部附属の国の研究施設として可急的速かに認可される様に目下申請中である。研究部門は完成の暁には四部門とし

1) 高分子合成研究部門（新しい高分子の合成重合の研究）
2) 高分子物性研究部門（高分子の構造と特性の研究）
3) 高分子成型研究部門（レオロジーを基礎とする紡糸，成型の研究）
4) 放射線高分子研究部門（放射線による高分子の研究）

昭和39年度から41年度迄に完成すべく教官定員と設備費を申請中である。研究室の配置は見取図の如くで，研究設備の主なものは高分子の研究に不可欠な赤外線吸収測定装置，X線解析装置，核磁気共鳴装置等を希望しているが，購入費はすべてこれからの努力によって集めなければならない。

最近大会社は夫々技術研究所，中央研究所，基礎研究所等を数億円数十億の巨費を投じて建設，独自の研究に邁進しているので今回新設された如きスケールの研究所は小規模ながらも設備に於ては，特に研究テーマに関しては独創的なユニークなものを選ばなければならない。又吾国では国内の過当競争の為に各会社が基礎的研究部門迄も重複して持ち，世界に先んずる重要研究迄も国を挙げて協力促進する場を持たない現状である。かかる意味合いから〝高分子研究協力振興会〟（仮名）の如き協同研究推進援助財団が実現され，小さいながらこの研究所の国を挙げての研究協力態勢への結び目の一つとしてその重責をはたし得るに至る事を念願してやまない。

ウィルス利用による害虫防除

米カリホルニア大学教授 Dr. Tanada 氏の講義内容を要約すれば次のようである。

害虫防除にミクロの天敵，即ち病原ウィルスが注目されるようになったのは農薬に欠陥がでてきたからである。最近，害虫の中に農薬に強い抵抗性を示すものが現れ，農薬の濃度を高めるか，他のものを用いねばならないという面倒な場合がでてきた。また農薬は人畜に害があるし，害虫と一緒に益虫や天敵を殺してしまうことも多く，作物の薬害も大きい。

病原ウィルスを使って害虫を防除する方法は，害虫の絶滅をねらうのではなく，大発生して被害を与えないよう，害虫を押えつけて自然界を安定させるのが目的である。

この方法の利用は約20年前，米国で牧草のアルファルファにつく害虫を退治したのが最初である。はじめＤＤＴで防除していたが，牛乳の中にＤＤＴが出ることから問題になってこの防除法が研究された。現在では欧米でマツなどの林木，トウモロコシ，野菜などに利用されている。

この昆虫に病原性をもつウィルスには表のようにさまざまのタイプのものが存在する。

これら5つのタイプのウィルスを害虫防除にどのように役立てるかは，次の事柄に注意をはらわなければならない。

1，抵抗性 Resistance of Virus
2，病原性と濃度 Virulence Or dosage
3，寄主感受性 Host susceptibility
4，潜在時間 Time factor
5，寄主範囲 Host specificity
6，移行 Transmission
7，潜在ウィルス Latency

要するに各タイプのウィルスはそれぞれその感染増殖過程を異にし，害虫にどのような影響を与えるかを十分観察した上で適当なものを選ばなければならない。病原性については病原力の強いものを用い，懸濁液の濃度も考える。また接種時期は，害虫の抵抗力の弱い，発病しやすい時期を選ぶ。

潜在ウィルスの問題については，ウィルスが卵を通して継代されるということから，害虫防除にこれを応用するいくつかの可能性が考えられるが，これは今後に残された問題である。

防除にあたって，ウィルス投与が一時的に害虫をおさえる農薬的な効果よりも，一次感染が二次感染をひきおこすような永久的な方法をとることができるとすればもっと効果的である。

では使用するウィルスはどのようにして産生するか？ 広い地域を対象とする害虫防除には多量のウィルスが必要である。ウィルスは人工培地では増殖しえないので，生きた材料を使わねばならない。最も望ましい方法として組織培養が考えられるが，現在までに成功していない。ウィルスの産生には，生きた昆虫に接種し，感染したものから材料を得ている。今迄に行われた成績では1エーカー当り，罹病した昆虫5～10頭分で効果が上がっている。従って容易にウィルスを得ることができれば，害虫防除にミクロの天敵を使って劃期的効果を上げることができるであろう。ただ問題として残るのは，有益昆虫にまで被害を及ぼさないかということである。

（要約 小林 勝）

Diseases	Inclusion Body		Virus particle		Host
	Type	Location	Shape	nucleo-protein	
1. Nuclear polyhedrosis	Polyhedra	nucleus	Rod	DNA	Lepidoptera Hymenoptera
2. Cytoplasmic polyhedrosis	〃	cytoplasm	sphere -like	RNA	Lepidoptera
3. Granulosis	capsule	nucleus cytoplasm	Rod	DNA	〃
4. Polymorphic inclusion	——	cytoplasm	sphere -like	RNA DNA	〃
5. Non- inclusion	——	——	——	——	Lepidoptera Silkworm. Diptera

母校ニュース

昆虫病理学の権威 TANAD博士を迎えて

去る6月10，11日の両日，わが学部では昆虫病理学の世界的権威，米国カリフォルニア大学教授 Tanad 博士を迎えて講演会，研究討論会，座談会を開いた。

Tanada 博士は Biological control の専門家で現在特に〝Virus による害虫防除〟の研究で世界的に有名な学者である。昨年10月からフルブライト教授として来日され，蚕と昆虫 Virus の研究に没頭中の東大農学部有賀久雄博士の研究室の一つで，研究と講義を担当されている。今回は有賀博士のご案内で特に来学され，蚕の Virus 病を扱っているわれわれ2，3人の研究についても色々教えていただくことができた。

上田の大学での講演は別記（小林勝氏要約）のように，〝Virus 利用による害虫防除〟というテーマであるが，英語で話され，スライドを用いその概要は時々有賀博士がかいつまんで解説して下さったので，大変わかりやすく，多くの聴講者に感銘を与えた。質疑の応答は流暢な日本語で話されたが，broken にもせよ英語で質問する学生もあったほど熱が入り田舎の大学にとってはまことによい機会であり，有意義であった。

講演会のあと座談会と討論会を催したが，Tanada 博士を中心に大学の生物学関係教官の他，蒲生，山崎（寿）両博士も加わり昆虫 Virus 蚕の膿病中腸型多角体病などの多角体 Visus 病から最近問題の伝染性軟化病（ウイルス性）にも及び大論議も戦かわされた。また米国の大学制度とか学生生活や気質などについても語られ時の尽きるのを忘れるほどであった。

このあと筆者は上田城趾，博物館，山本鼎記念館などをご案内し上田の思出としていただいた。翌3日目はまた両博士をご案内して長野蚕業試験場を訪問したが，井沢場長，西村博士，田中技官らに迎えられお世話をうけ山崎博士も加わりその日は善光寺，城山公園，文化センター，図書館を観，大峯城雲上殿などの観光を満喫され，翌日お二人は蚕業試験場で Virus のご指導や座談会をもたれ，Tanada 博士は富山県へ向われた。

（筆者，山口定次郎）

学部改新期成同盟会理事会開催

7月12日繊維機械科研究室，繊維実験室，高分子工業研究所の3建物落成式挙行に先立って午前10時より学部長室において期成同盟会長木内四郎氏初め副会長柳沢健太郎氏等役員出席し理事会を開催し次の事項を協議した。

1，教官宿舎建設について

教官宿舎7棟を建設する。

うち3棟は独身室とし，いずれもアパート式にすること。

2，高分子工業研究所の運営について

昨冬来建設中の高分子工業研究所は茲に完成し本日落成の祝典を催すことになっているが，今後この運営を新にし斬新な研究を期待するため新に財団法人を組織して完璧を期すこととなった。

信州大学統合案は見送り

一般教養の統合計画をおり込んだ信州大学の整備長期計画は今迄全6学部一致の結論が出なかったので7月10日まで延期を得ていよいよその7月10日開催の第93回信州大学評議会でも依然各学部の一致した結論が得られないので信大学部統合を含んだ教養課程統合案は延期見送りに決定した。

信州大学職員体育大会開催

本年度信州大学教職員体育大会は工学部が当番で長野市において7月27，28日の両日，野球，庭球，卓球，排球，弓道バドミントンの六種目が行なわれた。学部ではロマンスカーを連ねて選手応援団は早朝出発参加した。

大学院修士課程設置計画

繊維学部は昭和39年度をめどに大学院設置を検討している。繊維工業の発展に応じて研究者と高度の技術者を養成するため繊維工学専攻など3課程に設けることを予定している。繊維学部に大学院という声は数年前からあったが昨年から文部省が地方大学への設置にも積極的になってるのを機に学部も実現化を研究している。

山岳部総会

学生山岳部主将　森田稲吉郎

7月7日第1回山岳部総会が正部員，OB等多数の参加によって千曲会館で開催された。OB会の組織の拡大の問題を中心に次の事項について協議報告を行った

①部規約の承認

②OB会規約及び組織の拡大

③前年度事業報告（冬天1張購入）

④前年度山行報告（5月涸沢，8月滝谷，北アルプス全山縦走，黒部上の廊下12月燕岳から槍ケ岳，3月北鎌尾根末端から槍ケ岳）

⑤今年度新役員

部長　土屋　敦博助教授

監督　村井　栄一

主将　森田稲吉郎（紡工・糸専4）

⑥年間山行計画の承認（冬山剣岳月尾根，極地法，釜岳東面から鹿島槍縦走）

⑦年間事業計画（部報発刊）映画会の開催，トランシバーの購入）

今後部の発展のためにも上田専門山岳部の伝統をひき継ぎ新制大学になってからの部の先輩諸兄（24年～33年）との連絡を取り，OB会は下記へ御一報下さい

長野県上田市信州大学

繊維学部体育局内

上田山岳部・同OB会

皆様のご相談相手

八十二銀行

信州別所温泉

（上田駅下車 電車 又はバス30分）

日観連会員
交通公社指定
国鉄推薦

和泉屋

TEL（塩田局）30・102

本 会 記 事

動静部委員会開催

7月17日動静部委員会を開催した。出席者は荻原理事長，関理事，遠藤理事外各委員出席して次のことを協議した。会員名簿発行については本会事業，活動の源泉であるから明年には発行することに決定。その準備として出来るだけ正確な会員動静を把握すること。会社からの広告募集については支会のご協力を得るよう研究しておくこと。

菅平部分林視察

7月18日菅平地区部分林の管理状況視察と看守人の契約更新について現地に，山口定次郎理事，学部管理係松井事務官本会事務局白井要範が出張した。この部分林は2,600年を記念して当時繊維専門学校長井上柳梧先生の時菅平国有林大松山麓の地続2丁8反歩余に学徒動員によってカラ松を植林したもので，ですでに20ケ年余を経過し相等の成木を見せている今20ケ年もすると完成木として伐採されるので本会公益事業のために一つの魅力となるであろう。

今日は昨日の大雨もすっかり晴れ真夏の大陽は高原いっぱいに照り，目に見えるものは濃い緑一色で，向いの山菅平スキー場麓の旅館，ヒユッテ，生物研究所体育研究所の屋根だけが緑の中に色とりどりに見えた。山口先生得意のカメラで成木状況や看守人の家族を交えての写真もとった。

帰りは菅平大通りまで看守人宮崎さんがトラックで附近を説明し乍ら送ってくれたので高原体育研究所，ダボスのリフト手前まで行楽することが出来，緑の山なみを愛でバスで5時半頃帰田した。

なお植林当時の標識柱はすっかり腐蝕していたので新しい標識柱にかえること上田営林署に打ち合せて雑木草の手入管理を秋行うことが適当と認められた。

上田繊維科学振興会理事会開催

6月7日上田繊維科学振興会を開催し次の事項を協議決定した。

①上田繊維科学振興会研究助成委員会の結果報告とその承認。柳沢理事長より経過報告あり。6月号に掲載のとおり本年度は4名の研究員に研究補助する事及びその選考方針は若い研究員の研究意慾を盛りたてるよう考慮し基礎研究ばかりでなく応用方面にも力を入れ繊維科学の発展方向に添うたものを選考し文部省より研究補助のあったものは遠慮してもらった。本年度は学外会員から1名受賞された。今後一層学外会員も申請され本事業を盛んにするよう願いたい。

②財団法人上田繊維科学振興会設立許可申請書提出について。先般設立申請書につき再度長野県と打合せた経過報告あり早急に正式に提出するよう決定した

③学会講演会非常勤講師旅費補助等につき協議6月10，11日に行われる米カリフォルニヤ大学教授Tanada博士の講演会に予算の範囲内で補助決定した。

財団法人上田繊維科学振興会設立許可さる

母校50周年記念事業のうち将来にのこる事業として昭和36年より任意団体として発足し爾来2ケ年繊維科学振興に寄与する各種事業を実施して来たが当初から公益法人組織とすることが記念事業に協力いただいた各位に約束してあったので振興会役員会においた昨秋来これが法人組織について調査研究し，4月設立発起人会において設立を決議し，長野県知事に設立許可申請中であったが7月15日付財団法人上田繊維科学振興会許可指令があった。許可書到着后2週間以内に設立登記をしなければならないので目下申請手続き中である。

なお役員は設立発起人である次の理事15名監事3名が役員になられた。

財団法人上田繊維科学振興会役員

（順不同敬称略）

理事長 柳沢延房，副理事長 北条舒正
常務理事 中村六男，田口亮平，
野口新太郎，会田源作，高木春郎
理事 荻原清治，香山清和，飯島南海夫
川合久午，笠原正巳，小泉清明
呉 祐吉，関 博夫
監事 小泉 所，清水運策，竹内善吾

笠原正巳氏上田商工会議所会頭に就任

上田商工会議所の改選後初の議員総会は6月7日同会議所に開催し，選挙の結果前副会頭笠原正巳氏（糸15）（笠原工業株式会社上田工場長・千曲会理事）が会頭に選出され就任した。

千曲会厚生施設予定地視察

7月25日荻原理事長，山口理事，町田理事，学部清水事務長は本会厚生施設予定地楓ケ丘を視察した。ここは長野県北佐久郡御代田町開発公社より昨春長野県北佐久郡御代田町草越向原の楓ケ丘の1部663坪を購入したものであるが，その契約に基づいて出来るだけ早い会に寮を施設するように進められているもので，この度その実状を調査した。

千曲会費完納者

1昨年の総会において，かって1時金を納入された会員は20回分納入したことに見なし，后20回納入の場合，会費は免除となること，又は年々会費を納め40回完納の会員は以后会費免除に決定いたしました。この度次の方は40回分完納され会費免除となりました。

中村登一郎（紡19・愛知支会）
小出 倫平（紡26・更埴支会）

伊藤武男監修
絹糸の構造
45版 550頁 図360余
定価 1,300円 送料当方負担
残部ありご希望の方は下記にお申込下さい。
上田市常入信大繊維学部内
千曲会出版部



信州みやげに
信州
武田味噌
電話（上田）(2) 2280
2281

伊藤武男先生退職記念会募応者

1,000円 隅田隆太郎（繊維学部）北条 舒正（繊維学部）
金光 昭明（学糸5） 林 貞男（学化5）
600円 黒岩 茂隆（繊維学部）今井甲子男（化4）
坂口 育三（繊維学部）
500円 荻原 清治（繊維学部）松尾 卓見（繊維学部）
小野沢信義（学化6） 山田 邦男（学化8）
300円 勝野 貞哉（蚕35） 金井 節博（学蚕3）
矢彦沢清允（繊維学部）三石 賢（繊維学部）
大屋 正尚（繊維学部）

支会だより

徳島支会便り

定例の徳島支会総会を5月25日18時から徳島市両国橋北詰の中華料理店「安福」にて開催した。当支会は小粒ながら支会総会の出席状況や母校火災復興資金納入率等に優れた性能を示すトランジスター支会であるが，今回は常連のおひとりである米田氏（紡26）が入院加療中であったりして，現在員20名に対し出席者9名にとどまった。しかし会報で散見するデラックス支会の出席状況と比較するとマアマアといったところであろう。

議事では先ず火災復興資金については当日出席者の中で未納入の方がその場で直ちに拠金されたので遂に募金目標額の100％納入が達成した。千曲会費の納入も出席者からは早速いただいたが，欠席者については支会から重ねて懇請することとした。支会会計報告が承認された後役員については2年を任期とすることに決めた。従って昨春選出された村田支会長にはもう1年御世話をお願いすることとした。なお地区幹事も県下を3分して林氏（徳島市およびその周辺），矢島氏（鴨島町およびその周辺），依田（北島町）の3氏が引続き担当することになった。次に支会内の連絡をよくすることについては色々意見が出たが，当日の欠席者には支会総会の模様を書きおくることとし，26日に支会名簿を添えて発送した。なお，大先輩の遠藤氏（糸1）は所用のため欠席の旨の御連絡と同時に千曲会費をおくっていただくなど，いつに変らぬ千曲会への愛情と義理固さは後輩をして感歎せしめた。

議事終了後，ビールの栓を抜き，中華料理に舌鼓をうち，常田ケ岡の懐古談や停年後の第二の人生の生活設計に話がはずんだ。丁度窓からは新町川を渡って来る薫風がただよい，楽しい初夏の宵であった。名残りを惜しみ次の集いでの再会を約し，散会したときは22時をまわっていた。

当日の出席者は次の通り。（略敬称）

自営(山栄石油)	宇根山哲夫	（糸　17）
徳島県庁	川人　良次	（紡　21）
〃	林　邦治	（蚕　30）
〃	矢島　卓也	（学糸1）
東邦レーヨン	村田　一由	（蚕　18）
〃	高木　繁夫	（糸　36）
〃	依田　達郎	（化　7）
〃	佐藤　理	（学化2）
〃	柳沢　正良	（学化9）

（依田達郎記）

卒業35年目の近況

山本友之丞

昨日は降旗孝君の訃を寄せられて驚き入り哀悼の念に耐えません。60にならずに80年以上の大業をなし遂げられ，人生卒業をなされた氏の心境を尋ねたいものです。

友情の便りも結婚通知，栄転通知，転勤，転職，退職のあいさつから死報とならば最後の段階でしょう。

君の手紙を受けてから妻はいう。「あなたが死んだら誰に通知すればいいのか」「俺は一番後から死んで行くから通知する友人はいなくなる。」ト，いう訳で健康に留意しようと一層の決意を固めてみた。

……年に一度は級友の住所を印刷して配って貰へないだろうか。年賀状も最近はト切れト切れです。

これは昭和3年の春，またこの次の「ぼ志ん」にこの学舎に集まろう，それ迄元気で頑張ろう，と，60年後の再会を約して卒業した者達の35年目の手紙の一つである。

昭和の第一次戊辰の卒業生29名のうち今度の降旗で残りは丁度20人になってしまった。この中にあと25年後に上田の校門をくぐり得る者は果して何人おることだろう。

この級の友達の多くは公務員だから大体自分のコースを歩み了ったと自覚していることだろう。明日を憂へず，でなく明日に多くの期待が持てないいわば，社会的更年期に位している階層といえるかも知れない。だから唯々訳もなく不安が一杯で自分のことしか考へられない友達がいないとは云えない。中には打てば響くといったハリも感受性もその源が枯れ果てて年賀状一枚すらもメシの種にならない友情などには向けられなくなる，といつた赤裸々な姿を曝す，イヤそうではなく唯何をするにも張り合がなくてカボンヤリと時の流れを見送って仕舞う消極的な考え方に支配される友人もおるかも知れない。

でも生きている丈けでよい，お互い生き抜いていることがそれ丈けでお互いの力となれるのだから大いに頑張ろう。俺はそう思っている。　（蚕15回）

茨城支会だより

蒲生先生来水についての書信

蒲生俊興先輩より6月15日水戸市を訪問するから宜しくとのお手紙を入手した。来訪の主目的は50年前の県下旧竜ケ崎中学校の同期生と久し振りに会合することと，竜ケ崎市にある秋山家の墓参をしたいからとのことであった。

県内には蒲生先輩と上田での同期生や同窓教え子があるのでよいチャンスと早速会員に通知し，水戸市ときわ荘で会合することとした。各界も多忙のときであったが別記14名が集った。本会からも通知があったので，水戸駅に生天目君と出迎えに行き列車が到着したので出口でよく見張っていたが，近頃流行らないソフト帽を冠っての下車であったせいか仲々見当らない，だがそこはお互長い経験で蒲生先輩が誰れかいないかなあと立止って，あたりを捜している処を，ヤアヤアと挨拶をかわし会場へと向った。珍しく糸1の清宮保君が待ち構えていた。支会の出席は初めてであるので会員一同は勿論蒲生先輩も大喜びであった。蒲生先輩のことをここで書くのはどうかと思うが茨城県とは密接な関係がある蒲生家は代々岐阜高山市にあるが，御親父が竜ケ崎裁判所の判事であった頃当時の蚕種製造家であった秋山家に養子となり，そのため蚕糸界に身を投ぜられることとなった。その後家庭の事情で蒲生家に復帰されたのである。実質的には本県の出身といって差支ない訳である。こんな関係もあって，度々お越しになり，同窓のため何かと配慮を受け感謝している次第である。

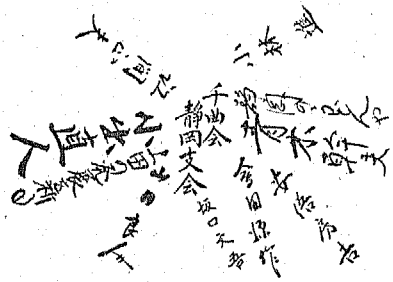
宴が進むに従って話は母校のことや学生時代のことに及び話が尽きない。遠慮する者のいない席だけに話がはずんだ。清宮氏曰く〝蒲生君も昔は仲々ロマンスがあったよ〟蒲生氏曰く〝清宮君は学生時代から羽織，袴に白足袋で粋な遊びもしたものだ〟〝あの時先生に叱られたな〟これは教え子達の弁。こんな他愛もない話の中にも母校の将来のことや針塚先生の思い出話になると心の締る感じがする。針塚先生は度々本県にお越しになり，県や学校の要路の人々にお逢になりその間母校発展の為め色々と心を砕かれた話題は豊富で同席の吾々も鼻が高くなる思いであった。一面吾々同窓のみの席となれば洋行中の面白い裏話や独逸の学生の歌，さては日本各地の民謡何でもござれと歌われ，時には藤田東湖先生の正気の歌を知らないようでは水戸人ではないと叱られ，自ら朗々と吟ぜられたその面影は今尚髣髴として湧いてくるのである。尊敬してやまない針塚先生のご冥福をお祈りする次第である。なごやかな茨

城支会も席を芝田屋旅館（化学4回永井保郎君宅）に移し深更にいたって散会した。なお当日の出席者は次のとおりである。 （船後勇平記）

糸1	清宮　保	蚕6	船後　勇平
蚕12	丸山　十吉	蚕14	前沢　康雄
蚕19	加藤　省三	蚕25	生天目久平
蚕30	塩入　勤	蚕33	米川　富秀
蚕33	影山　剛	化4	永井　保郎
蚕36	大工原　卓	学蚕2	手塚　輝男
学蚕3	伝田　敏夫	学蚕3	金井　節博

静岡支会便り

6月30日静岡市竜宮旅館において，年次計画の恒例支会総会が開催された。昨年は6月24日に同じこの会場で盛大に，町田理事の来会を得たが，今年は，最近紡織，化学卒業の会員も段々多く就職しているので本部から，繊維工業化学科主任会田先生にご出席をお願いした。



安倍幹事長より同日参会の寄せ書きと次のお便りを得た。

過日はご多忙中の処，本県千曲会支会発展のため遠路ご来静をいただき有難うございました厚くお礼申し上げます。せっかくのご光来にも拘らず，出席会員も少く，且つ何のおもてなしも出来ず本当に恐縮でした。今後は先生のご指示に従い，何んとか支会に活を入れたいと存じます。今後ともご指導の程お願い申し上げます。本部の皆様には呉れ呉れも宜しくお伝へ願います。

ニューヨーク便り

6月19日羽田発で欧米の経営管理と技術について視察中の山陽技術振興会専務理事，千曲会山陽支会長，江野村一雄氏から次のニューヨーク便りがあった。

只今ニューヨークにいます。今迄にドイツ，オランダ，ベルギー，イギリス，フランス，スイス，イタリー，と7ケ国をかけ足で廻りました。欧州は丁度草花の満開のシーズンで実に眼を楽しませてくれました。これからフィラデルフィヤワシントン，デトロイト，シカゴ，ロスアンゼルスを見学勉強して8月初めに帰国します。千曲会の発展と皆様のご健康を祈ります。

鹿児島支会だより

鹿児島県庁の辻さんから片倉の末吉工場長関茂（製糸22）さんが本社の製糸課長に栄転後任に土生珀二（製糸24）さんが決定引継に両氏見えているから歓送迎会を兼ねて支会を開催したらとの電話があったので賛成して至急会場と日時を会員に通知方御願いした。

随って会員洩れなく通知が出来なかったことと余り急で日時に間に合わなかったり又会員皆さんのご都合つかなかったりで主催者として済なく存じます茲に改めて支会員皆様に深くおわび申します。

6月18日午後4時半鹿児島市易居町の一楽で開催した南国の鹿児島は早や真夏の暑さである扇風機や窓の開放で暑さ凌いだが尚汗だくだくである。

児玉新一さん（蚕24）は大島から飛行機でかけつけて頂いた会員8名集まったので支会長両氏の歓送迎会の挨拶ついで関茂課長のお別れの挨拶，土生珀二所長の新任挨拶あって懇談会に移った。酒間に香物は関課長，土生所長及び児玉新一さんの寄贈で呑み放だい，酒の廻りにつれて関課長，土生所長の美声に酔い各自のかくし芸，上田学生時代の思い出話に花が咲いて時の過ぐるを知らない程で友交の情を温めた。午後8時散会して尚別れを惜しみつつ児玉新一さんの新宅へ皆んな押しかけた。

新しい映画館を改造され3階建で1階が売店，2，3階が住宅社員の宿舎にあてられ，実に立派な設備であった。土地一切が自分のもので商店の経営も卸商で労せずして儲ける近代的なやり方でぐんぐん伸び一流の実業家として成功している。

奥さん嬢ちゃん一家皆さんの心からの御歓待に同窓の気やすさも加わってすっかり腰が落ちついて了った。僕は最終列車に漸く間に合って指宿へ帰ったが，あとはいつまで皆んないたか，なかなか立つ気配もなかった。児玉一家には常に大変な厄介になって申し訳ない。

次に会員の動静を略記する。

木脇寅熊（蚕4）鹿大退官後自宅で悠々自適，御健在とのこと近来御伺いもせずすまない。近く自宅を伺って見ることにする。

宇都宮休一（蚕6）高山町森林組合長で御子さんがないのが気の毒，人間宇都宮さんは目下宗教熱心で先般久振旧情を温め指宿の観光地を案内した。近く奥さんと御同伴を約し別れた。

辻義男（蚕24）鹿児島県庁農業蚕糸課の蚕糸係長として県下蚕糸業行政に敏腕を振って千曲支会の世話役をして頂いている。

児玉新一（蚕24）前記のように繊維衣類雑貨の卸商として成功，常に同期の辻義男さんと2人で相談，千曲支会のお世話を御願いしている。

鈴木茂（蚕22）片倉鹿児島蚕種製造所長として堅実に片倉蚕種の声価をあげ県下蚕糸業の重鎮として尊敬の的になっている。

酒匂景雄（蚕22）今年新設の国立工業専門学校の主事として栄転小原学長（元鹿大工学部長）の補佐役として御活躍中

中山吉二（蚕12）名のみの支会長で終戦後温泉熱製塩業を始め組合や会社の面倒見乍ら九大試験地を管理し近来熱帯植物園造成にも力を入れている。人の世話好きで現在観光指宿の案内役に自から任じて皆さんの御利用を願っている。

安田辰巳（糸17）大隅開発協会事務局長として十数年間敏腕を振い日下軌道に乗せて大隅地区の人望高い県議に推されたが現在の仕事に精根を打込んでいる。

岩切作次（糸22）岩切製糸を盛り立て昨年来澱粉工場を新設，開業事業の渡に乗って成功，初年度から黒字あげ非常も事業熱心家で二人の嬢ちゃんの教育にも亦熱心である。

土生珀二（糸24回）今回関所長の後任として当末吉工場長として赴任された。戦前倉田（糸11）工場長時代片倉薩摩製糸に勤めた体験もあるとの事同窓同期の辻，児玉，先輩鈴木，岩切，酒匂，守屋，入佐さん等あって心強いと張切っている。

入佐一郎（蚕21）療養生活徹底され，昨今健康を取戻し目下郷里で農業自営，子供の教育中である。町長出馬を勧められているが目下自重中よき奥様とよき御子様に恵まれている。

守屋一郎（蚕22）農業自営，子供の教育中，山林田畑の大地主で高山町は昔から県下で有名な金持である中でも宇都宮休一（蚕6）さんと二人は有名な富豪と聞く，何づれは町県国のためにも活躍願はねばならぬ人である。

牧宮寿雄（糸32）今回の移動で鹿児島県検定所業務課長に栄転された。県庁にいて辻係長とよく相談され県のためにも千曲会支部のためにも尽して頂いたが，今後も一層力になって頂くことになっている。

日高篤（糸34）今回の移動で県の農業蚕糸課の製糸係主任として牧宮寿さんの後任に栄転された。辻さんの相談相手になって県と千曲会のため努めて頂くことに御願いする。

柳村春雄（糸26）終戦後長らく生死不明であった柳村さんの御両親の御心配と祈りの甲斐あって御帰郷後中学校に奉職中である。

東忠秀（化1）郷里で薬品会社開業して隆盛の由，未だ拝顔の栄に接していないが御来鹿の機会に親しく懇談の機会をつくりたい。

瀬脇休信（紡10）郷里の市役所で御活躍中とのことであるが，まだ面接の機会がないのは残念である。 （中山記）

火災復興資金募集

母校火災復興資金募集の現況は7月20日現在1,413名，3,219,600円となり募金目標額の55.5％になりました。会員各位の母校愛溢れる熱意に対し衷心より感謝申し上げます。申し込みをお忘れの会員におかれましても募金要項ご賛同の上格別のご支援ご協力賜わりますようお願い申し上げます。

募金要項

募金目標額	5,800,000円
復興資金として母校へ提供する金額	5,000,000円
拠出額	1口　金1,000円　1口以上
申込期限	昭和38年12月末

千曲会員各位

母校火災復興資金募集実行委員長
巣山喜吉

社団法人千曲会理事長
荻原清治

母校火災復興資金申込者氏名 (○印申込同時完納)

北奥支会　2,000円　○宮下明治（学蚕5）
宮城支会　2,000円　○国貞忠男（糸　19）
茨城支会　1,000円　○伝田敏夫（学蚕3）
埼玉支会　10,000円　○合田信一（糸11）
　　2,000円　○片山　文一（蚕29）
東京支会
　5,000円○藤井富美男（紡8）○小沢周一郎（蚕10）
　2,000円○馬場長市（糸16・追加2口申込）
　○上原泰正（蚕33前）
上小支会　2,000円　○久保田正樹（蚕3）
安筑支会
　1,000円　○中垣寿彦（糸36）○御子柴啓由（学蚕9）
更埴支会
　3,700円　○小出倫平（紡26）
　1,000円　○馬場忠貞（蚕34）
諏訪支会　1,000円　○久保幸彦（学糸8）
静岡支会　2,000円○安倍房吉（蚕31）
近畿支会
　2,000円　○堅谷貞茂（蚕37）○辻本豊（化4）○中尾彰良（紡26）○関与志雄（学紡2）
　1,000円　○林貞男（学化5）○笠井利之（化6）
山陽支会　1,000円　○竹内康弘（学化9）
徳島支会
　1,000円　○川人良次（紡21）○林邦治（蚕30）○高木繁夫（糸36）
宮崎支会　1,000円　宮崎敏夫（学化8）
熊本支会　2,000円　吉津柏（紡5）

火災復興資金申込後完納者氏名

5,000円　高岡　米治（紡19・山陽）
3,000円　矢沢茂登一（蚕1・東京）竹内善吾（蚕14・上小）村田一由（蚕18・徳島）
2,000円　塩入　勤（蚕30・茨城）中村　克（紡29・京滋）
1,000円　社領丈夫（糸30・兵庫）秋野　明（糸36・兵庫）
宮村秀夫（学農10・兵庫）石井昭衛（学糸6・兵庫）
柳沢正良（学化9・徳島）野崎昭嗣（化6・熊本）
中岡保男（農1・熊本）斉田新次（学糸2・石川）
松田　清（農2・愛知）尾崎輝美（紡30・愛知）
土屋邦雄（紡21・愛知）井出　智（蚕35・東京）
野村忠雄（糸30・東京）小島広彦（学蚕7・東京）
鈴木昭（学蚕5・北九州）井上越雄（学糸9・近畿）
持田正彦（学蚕3・埼玉）上原光雄（学紡1・埼玉）
伊藤博夫（学化4・北信）小林茂雄（学紡8・神奈川）

母校火災復興資金募金申込納入調　(38.7.20現在)

支会名	募金申込 人員	募金申込 金額	募金申込 達成率	募金納入 人員	募金納入 金額	目標額
	人	円	％	人	円	円
北海道	4	7,000	25.0	4	6,000	28,000
北奥	21	45,000	◎ 83.3	21	45,000	54,000
山形	18	42,000	◎ 93.3	17	38,000	45,000
宮城	26	71,000	◎144.9	26	71,000	49,000
福島	36	67,700	58.1	35	65,700	108,000
群馬	8	14,000	6.5	6	11,000	217,000
埼玉	44	72,400	40.7	43	71,400	178,000
栃木	15	46,000	◎ 88.5	14	34,000	52,000
茨城	39	66,200	◎ 75.2	39	65,200	88,000
千葉	21	36,000	57.1	20	34,500	63,000
東京	190	324,500	54,5	177	310,500	595,000
神奈川	70	158,000	◎ 82.3	67	149,000	192,000
山梨	17	21,000	33.3	17	21,000	63,000
越佐	10	15,000	17.2	10	15,000	87,000
富山	22	35,000	50.0	20	33,000	70,000
石川	11	22,000	66.7	10	19,000	33,000
福井	5	11,000	39.3	5	11,000	28,000
北佐久	12	25,000	17.0	10	19,000	147,000
南佐久	5	8,000	15.7	5	8,000	51,000
上小	129	285,600	49.2	113	243,000	581,000
学内	49	411,000	◎100,0	47	274,553	411,000
旧職員	4	13,000		4	13,000	
更埴	14	35,700	21.9	13	37,500	163,000
北信	37	107,000	44.0	36	97,000	243,000
飯高	2	2,000	2.4	2	2,000	84,000
安筑	80	137,000	◎ 76.1	79	134,000	180.000
竜川	16	26,500	29.8	12	17,500	89,000
諏訪	26	112,000	◎ 72.7	17	71,500	154,000
岐阜	16	50,000	43.9	15	49,000	114,000
静岡	20	36,000	41.3	20	36,000	87,000
三重	51	108,000	◎102.9	50	106,000	105,000
愛知	111	237,000	◎ 71.0	108	225,200	334,000
近畿	33	59,000	24.8	31	57,000	238,000
京滋	50	101,000	◎107.4	45	89,000	94,000
三丹	32	66,000	◎ 78.6	24	47,000	84,000
兵庫	43	96,000	◎ 83.5	42	95,000	115,000
山陽	39	95,000	50.3	39	95,000	189,000
山陰	10	10,000	22.2	10	7,000	45,000
徳島	16	30,000	◎100.0	16	30,000	30,000
香川	2	4,000	28.6	2	4,000	14,000
高知	9	9,000	◎ 75.0	9	9,000	12,000
愛媛	9	27,000	44.6	9	27,000	56,000
北九州	16	27,000	21.8	15	24,000	124,000
熊本	11	18,000	40.9	11	18,000	44,000
宮崎	5	13,000	50.0	5	13,000	26,000
鹿児島	9	17,000	56.7	9	16,000	30,000
合計	1.413	3,219,600	55.5	1.329	2,864.553	5,800,000

会員動靜

伊藤 武男 賛旧職 京 滋 (住) 京都市右京区鳴滝宇多野谷9の32
中村 正義 紡 19 北 信 県企業局企画部ガス水道課長 (長野市県町)
清水比呂夫 蚕 28 北 信 県農政部農政課金融係主任 (長野市県町)
山崎 千春 蚕 30 北 信 県社会部労政課庶務係長 (長野市県町)
中村 文雄 蚕 35 北 信 県農業協同組合講習所 (長野市県町)
羽田 和介 蚕 36 北 信 県衛生部保険予防課予防防疫係 (長野市県町)
清水 茂一 農 1 北 信 県総合開発局計画課第二係主任 (長野市県町)
清水 昭典 農 2 北 信 県総務部地方課税制係 (長野市県町)
清水 伝二 農 2 北 信 県商工部振興課企業振興係 (長野市県町)
塚田 長治 農 2 北 信 県農政部農政課金融係 (長野市県町)
深井 真澄 農 2 北 信 県農政部農政課構造改善室 (長野市県町)
永野 裕貞 糸 32 北 信 県衛生部医務課庶務係長 (長野市県町)
清水 利男 糸 37 北 信 県土木部都市計画課庶務係 (長野市県町)
寺島 幸雄 化 8 北 信 県農政部農地開拓課調査係 (長野市県町)
宮崎 剛 学紡 3 北 信 県土木部監理課用地係 (長野市県町)
中村 清 学蚕10 北 信 教育委員会事務局義務教育課庶務係 (長野市県町)
宮村 秀夫 学蚕10 熊 本 九州農局構造改善部振興第一課 (熊本市2の丸町2) (住) 熊本市出水町今字東堀馬屋900の2
荒井 肇 学化11 愛 知 東洋レーヨン㈱生産技術部ナイロン製糸研究室 (名古屋市西区堀越町乗越238
味沢 泰造 糸 5 東 京 自営 東京都中野区桜山町36電 (361) 2434
田中 茂男 蚕 36 北 信 長野県蚕業試験場 (長野市) (住) 小県郡丸子町石井
伊藤 熙 学蚕 5 群 馬 亀山製糸㈱前橋乾繭場 (前橋市宮前分40)
関 栄義 学蚕 7 近 畿 堺市百舌鳥夕雲町1の103仰陵苑5号室
川人 良次 紡 21 徳 島 徳島県児童相談所 (徳島市)
高木 繁夫 糸 36 徳 島 東邦レーヨン㈱徳島工場 (徳島県北島町高房)
石谷 雄一 蚕 38 熊 本 九州農政局構造改善部振興第一課 (熊本市2の丸町2)
小林 正治 学蚕 8 愛 知 愛知県農林部蚕糸課 (名古屋市中区南外堀町6の1)
小宮山源一郎 学蚕10 静 岡 巴川製紙㈱技術研究所 (静岡市用宗110)
宮下 明治 学蚕 5 北 奥 岩手県園芸試験場 (岩手県北上市飯豊)
木内 俊一 蚕33前 群 馬 昭栄製糸㈱群馬出張所 (群馬県安中市郷原73)
中沢 功 農 1 埼 玉 農林省農事試験場農事経営部 (埼玉県鴻巣市)
湯本 邦雄 学蚕 7 上 小 和田中学 (長野県小県郡和田村)
鑓塚 好作 蚕 22 富 山 富山県射水教育事務所 (富山県射水郡小杉町戸破) (住) 射水郡大門町市井671

信州鹿教湯温泉
日観連会員 交通公社協定 文珠荘
TEL (西内) 35

編集室より

暑中御伺い申し上げます。

7月初めから各学科3年生が実習研究に各業界にお世話になっています宜しくご指導を願いいたします。明春卒業予定者の就職状況も良好の様です。

母校の改組拡充計画の第1段階の3建物の落成式を期に今後いよいよその発展を期待いたします。

本月号は増頁して内容の充実をはかりお届けいたします。

編集委員 小林尚一，香山清和，大屋正尚，古平福紀，窪田 衛，大工原建，小山 定，滝沢達夫，小林 勝，白井要範

ORGAN NEEDLES FOR THE SEWING MACHINE
オルガン ミシン針
長野県小県郡塩田町
オルガン針株式会社
TEL 塩田 650
社長 増島芳美

綜合建設工事一式
土木建築アスファルト舗装 設計施工
上下水道衛生設備工事
長野県上田市大字常入632
株式会社 宮下組
TEL (上田) (2)0271.2071.4034